

今年度最後の道徳授業がありました

今日は、今年度最後の道徳の授業がありました。この1年間、生徒は道徳の教科書内にある様々な資料をもとに、考えを深めてきました。道徳の授業で学習する内容項目は大きくは以下の4つとなっています。

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

これらをさらに細分化した学習内容の項目が全部で22項目あります。これらを1年間かけて学習するのが道徳です。

道徳の学習をすることで、自分の考えを振り返ったり、自分の中にある新たな考えに気づいたり、周りの友達のことを知ったりします。そうすることで、よりよい生き方を見つけていきます。もちろん、道徳の授業を受けたから、すぐに皆の心が大きく変わるかと言えばそうではありません。特効薬的な学習ではありませんが、時に心を揺さぶられたり、感動を覚えたり、自分との違いを発見したりします。そのような学習をとおして、心の成長を促します。

太宰府西中学校では、これからも道徳の授業や豊かな心を育む教育を推進していきます。

